





平成 26 年 3 月 10 日

工学研究科委員長
森島 洋太郎 殿

審 査 委 員 会 報 告 書

審 査 委 員			
(主査) 教授	和田 章仁		教授 
教授	池田 岳史		
准教授	竹田 周平		

学位論文提出者氏名

片柳 澄明

学位論文題目

歴史都市における観光客の行動特性からみた観光活性化方策と
その効果に関する研究

学位申請受理年月日

平成 26 年 2 月 6 日

1. 学位論文の内容の要旨

別紙論文要旨のとおり

2. 学位論文審査結果の要旨

近年、わが国における多くの地方都市では、少子高齢化が大都市と比較して急激に進展している。このような状況下、地方都市では定住人口を増加させるのではなく、交流人口を増やすことによって消費の拡大を図り、地域経済を活性化させようという取り組みが進められている。その中でも、伝統的な町並みや建築物、あるいは朝市や祭りなどの伝統行事が残されている歴史都市では、都市部から観光客を呼び込み、観光振興により地域を活性化することが望まれている。本研究は、地域の活性化は観光客を増加させるだけでは達成されないとの考えから、いかに滞在時間を延ばすことができるか、さらにはその方策による効果について明らかにするものである。

論文は序論（第 1 章）、本論（第 2 章から 7 章）、および結論（第 8 章）から構成されている。第 1 章では本研究の背景を説明するとともに研究の目的をまとめ、あわせて論文の構成について述べている。第 2 章では観光交通の近年の動向を述べるとともに、観光交通に関する既存研究について詳述している。第 3 章では本研究で

の観光交通の調査対象都市として高山と京都を抽出し、その調査概要を述べている。第4章では高山における観光交通の実態調査について記述し、経年変化による観光客の旅行経路パターンを把握し、その課題を述べている。また、観光活性化を図るために観光客の交通手段に着目し、自家用車と公共交通機関の利用実態を詳細に把握し、自家用車から公共交通機関への手段転換の可能性を探っている。さらには、高齢化社会を見据えて、シニア世代の交通実態の把握までその範囲を広げている。第5章では高山と同様に、京都における観光客の行動特性を詳細に把握し、前章において提案した検討手法が他都市においても適用できることを検証している。第6章においては第4章と第5章の実態を受けて、観光行動に関する新たな指標として「移動・滞在時間比」および「観光費用便益比」（観光地に滞在することにより享受できる便益/観光地までの移動・宿泊に要する費用）を提案し、高山と京都におけるアンケート調査結果から、指標の有効性を評価した。この結果、「観光費用便益比」はアンケート調査結果と整合し、観光行動の実態を制度よく表現できる指標であることを明らかにしている。さらに、「観光費用便益比」を用いて、交通手段別に日帰り圏域と宿泊圏域を定量化する手法を試みるとともに、「観光費用便益比」を増大させるための具体的な取り組み案を提案した。第7章では、高山商工会議所のバックアップを受け、地元事業者を対象として地域経済の振興と観光活性化、さらには交通環境の実態に関するアンケート調査を実施することにより、観光活性化が地域経済に及ぼす影響を事業者の目線から明らかにしている。第8章の結論では、本研究で得られた結果を総括するとともに、今後の研究の方向性について論述している。このうち、観光行動に費用便益分析の概念を導入したことで、日帰りあるいは宿泊といった旅行日程の選択と交通手段選択との関係を明らかにしている。この知見を活用して、ある特定の観光地に対して、「日帰り優位圏域」、「宿泊優位圏域」を算定する手法を提案した。さらに、地方の小規模な観光都市においては、母都市と周辺都市間の連携の度合いを、立寄率で評価できることを明らかにした。なお、観光費用便益比については更なる精緻な検証が必要なことから、今後の課題としている。

上記の研究内容を審査委員会で慎重に検討した結果、本論文は博士（工学）の論文として学術上、価値のあるものと認める

3. 公聴会の日時

日時：平成26年2月12日（水）16時～17時

場所：福井工業大学 FUT タワー6階 T-601 教室

4. 最終試験結果の要旨

平成26年2月12日の公聴会終了後、論文内容および公聴会での質疑に対する応答などに関して諮問、審議を行い、さらに平成26年3月7日にも慎重な審議を行った結果、合格と認めた。

5. 審査委員会の所見

審査の結果および最終試験結果等を考慮して、申請者は博士（工学）の学位を授与される資格を有するものと認める。